



# リウマチセンターだより



## ～ 新型コロナウイルス（COVID-19）ワクチンの接種 Q & A ～

**Q:**リウマチ・膠原病がある場合にワクチンを打ってもいいですか？

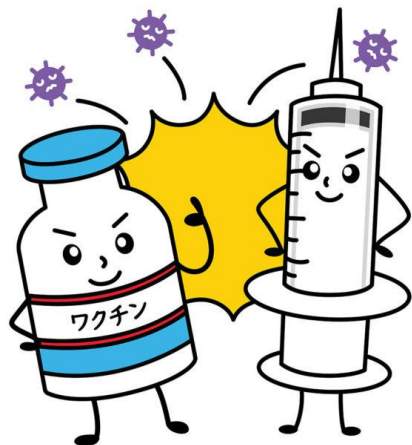
**A:**ヨーロッパリウマチ学会は、リウマチ性疾患患者がワクチン接種を差し控える理由が見当たらないとしています。

日本リウマチ学会は『**新型インフルエンザワクチンと同様にステロイドをプレドニゾロン 5mg/日以上または免疫抑制剤、生物学的製剤、JAK 阻害剤のいずれかを使用中の患者は他の人たちよりも優先して接種した方がよい**』としています。

もともとの病気が悪く発熱している場合などはワクチン接種を推奨できません。

**Q:**ワクチン接種前後で免疫抑制剤やステロイドは継続すべきですか？

**A:**現時点でステロイドや免疫抑制剤がこのワクチンにあたる影響は不明ですが、**通常のワクチン接種では、免疫抑制剤やステロイドを中止・減量しないため、薬は変更せず継続すべきと考えます。**



**Q:**ワクチンを接種すれば感染しなくなりますか？

**A:**現在販売されているワクチンで完全に新型コロナウイルスの感染を防ぐことはできません。予防効果として、ワクチンを接種した人は、投与後数か月の間、ワクチンを投与していない方の**5-10%程度まで感染する確率が低下**することが報告されています。またワクチン投与によって、**感染後に重症化しにくくなる**ことが分かっています。

**Q:**ワクチンの副作用について教えてください

**A:**注射を打った場所の変化(局所反応)と全身的な変化(全身反応)に分けられます

**局所反応:**80%近い方で痛みが出現します。一部の方では腫れたり赤くなったりしますが、症状は1週間以内にほとんどが消失します。

**全身反応:**頭痛・全身倦怠感・筋痛・関節痛・悪寒などの症状が3-80%の方で出現しています。若年者で副作用が多い傾向がありました。

アナフィラキシーの発生頻度は100万接種あたり11.1件です。症状は接種後15分以内に出現することが多く、特にアレルギーやアナフィラキシーの既往歴があるかたは担当医とあらかじめご相談ください。

(リウマチ学会ホームページより抜粋)

